

地域情報誌
2017年8月
(No34)



DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

いなかの学校2017体験レポート！

7月15日～16日にかけて、今年も「いなかの学校」が開催されました。

今回は、実際に参加されたお子さんの体験レポートを紹介します！



私は『いなかの学校』に初めて行きました。須金でツリークライミングとかラフティングボートはやった事があったけど、お泊りは初めてでした。最初は班の人たちとも仲良くなれるか心配だったけど、地元の友達が優しく接してくれたので良かったです。他の班の子たちとも仲良くなれて、地元の子ども達とは夜のお散歩をして、私の住んでいる地域では体験できないことがたくさんできました。

大学生のお兄さんと一緒に木に登ったり川遊びをしたりして、夏休み前なのにとっても充実した2日間になりました。

また行きたいなと思ったけど私は6年生なので、とてもさみしいです。でも、またお父さんに連れて行ってもらって、須金の子たちと遊びたいです。 (徳山小学校6年 三牧 綾子)

人物紹介

住吉泰輔

(すみよしたいすけ) さん



(写真：須金支所にて)

この4月に新しい支所長さんがいらっしゃいました。今月号では、自己紹介という形で、ご本人に寄稿していただきました。

【初めまして 住吉です】 by 須金支所 住吉泰輔

もう8月ですが、改めまして「初めまして、住吉泰輔（すみよしたいすけ）です」。

4月から須金支所・農村環境改善センターで勤務を始めて、あっという間に四か月経ちました。いろいろと不慣れなところで、ご迷惑をおかけしているのでは・・・と心配しています。大丈夫でしょうか？

遡ること3月に、須金支所勤務の人事異動の発表がありました。その時思いました。

“須金支所勤務ということは→バイク通勤できる→でもバイクは売って、今は無い→そうだバイクを買おう→奥様に、相談しよう（残念ながら、バイク屋へ行こう！には、なりません）”。そして撃沈しました。

「バイクはこけるでしょう」の一言に・・・「ハイ」としか答えがみつかりません。なんと理不尽な。今は、近くで聞こえるドドドって音に我慢する日々です。

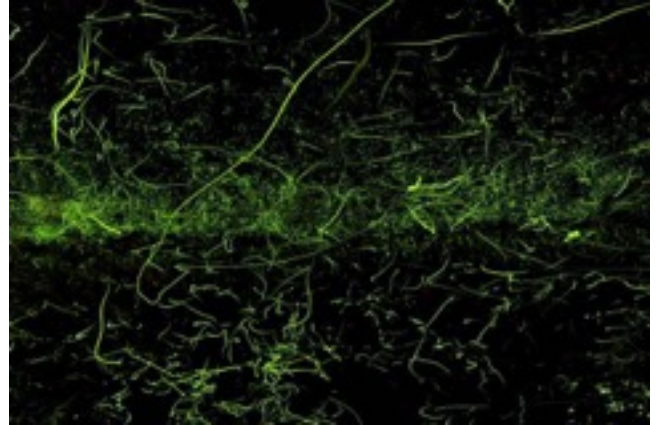
ということで、春から夏へ変わっていく錦川や農園の風景を見ながら、軽自動車通勤しています（バイクならもっと感じる事ができるぜ！）。

これから夏から秋へ、秋から冬へ移り変わる須金を楽しみながら、頑張ります。どうぞ、よろしく願いいたします。

須金支所は「涼みの駅」実施中です。暑いとき、ちょっと涼みに寄ってください。



『ほたるの須金 2017』が開催されました！



6月23日(金)と24日(土)に予定されていた「ほたるのすがね」を、大変楽しみにしていました。と言うのも、第一回目の「ほたるのすがね」のボートに、私、運よく乗ることができたからです。そして見ました。ホタルが山から、ボートの上を優雅に飛び交う姿を。こんなの見たことない・・・と。

須金のホタルはすごいけー、見ちょかんと損するよと、同僚には随分と言いつらして回ったものです。そして、自分が二回目の船に乗ることもなく時は流れ、須金支所勤務となったので、こりゃーえーことじゃと思っていたのですが。

残念ながら雨にやられ、24日は中止。23日は天気も良く、少し肌寒い感じでしたが、錦川に映るホタルも幻想的で、乗船していただいたお客様も大満足の様子。来年も、また会いましょうと・・・こちらも満足。

と思ったら胸ポケットにいれたはずのスマホが・・・ない。一緒にいた須田さんに電話をしてもらっても着信音が聞こえません。水中で光っていました。(ToT)/~~~

(文 / 須金支所 住吉泰輔)

書評 DE SUGANE

◎ 『ヨーロッパ・コーリング-地べたからのポリティカル・レポート』

(ブレイディ みかこ(著)/ 岩波書店)



20年以上、イギリスで低所得者向けの保育所で働く日本人女性ブレイディ みかこさんの最新刊。

イギリスを中心としたヨーロッパ各地の政情を、生活者のリアルな目線からレポートしています。新聞記事やお堅い学者、政治家の言葉が全く頭に入らなかった僕にも、イギリスのEU離脱、パリの同時多発テロ、ギリシア金融問題、移民問題などなど、彼女の語るリアルな言葉は不思議にすんなり入ってきて、すつんと腑に落ちました。新刊も出されており、引き続き「どんなマスコミよりヨーロッパがわかる」ライターとして、今後も目が離せない一人ではないでしょうか。

ちなみに気になる表紙はバンクシー (英国の覆面芸術家) が描いた「花束を投げる男」。タイトルもバンクだ。(文/須田 浩史)



須金地区主な行事予定

(8～9月)

8月

- 8月 2日（水）自治会長集会
やまびこ号
- 8月 7日（月）コミュニティ理事会
- 8月 14日（月）物故者追悼式
盆踊り大会
- 8月 26日（土）須金なし・ぶどう祭り
- 8月 30日（水）やまびこ号

9月

- 9月 1日（金）小学校始業式
- 9月 3日（日）敬老会
- 9月 5日（火）地域参観日
- 9月 25日（月）大津島秋季交流会
- 9月 29日（金）やまびこ号



特別連載 須金歴史探訪

須金の生い立ち (7) 室町～江戸時代

文 高橋 勝己

毛利の支配下となった須万では、陶との戦いで功績を上げた鶴岡一族が中原と兼田の支配を許され、それまで中原を治めていた五郎丸一族、兼田の金子一族に取って代わりました。兼田の金子様は陶との戦いにおいて金子周防守が耳を撃ち抜かれ、患ったのちに亡くなった彼を祀ったもので、耳の神様として有名です。兼田には古市という地名があり、中原には代官所が設けられていました。このことから大内から陶、そして毛利へと時代が移るにつれ、長渡路の清水から兼田、中原へと中心地は移り、現在の須万市が開拓されていきました。

須万市は鶴岡の家臣であった倉光将監の弟らが開拓し始めたと言われていています。徳川の政権下となり、毛利が防長二国に百二十万石から三十万石へ減領され財政的に厳しくなると、毛利は三白政策として、米のほかに塩、和紙の生産を進めました。山あい、米の生産が上がらないこの地域では和紙の生産を奨励し、それを年貢として納めさせたのでした。（次回につづく）



(写真：須金和紙センター)

DEすがね掲示板

◎空き家情報をお寄せください◎

周南市では、空き家の有効活用と定住促進による地域活性化、住替えによる住環境の改善を図ることを目的として、空き家情報バンクを開設しています。須金地区からも空き家情報を積極的に発信していきたいと考えています。空き家を貸したい方・売りたい方、またはその様な方をご存知の方は公民館までお知らせください。

※DEすがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育って、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！

編集後記

暑～い夏も、気がつけばもう終盤。朝晩はすっかり涼しくなって、秋の気配。今年の夏も振り返ると駆け足で過ぎ去っていった気が…。夏の終わりって、いくつになってもなんだか寂しいものですね。（須田）